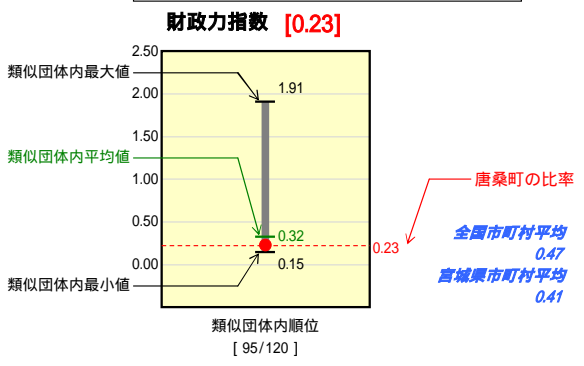


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

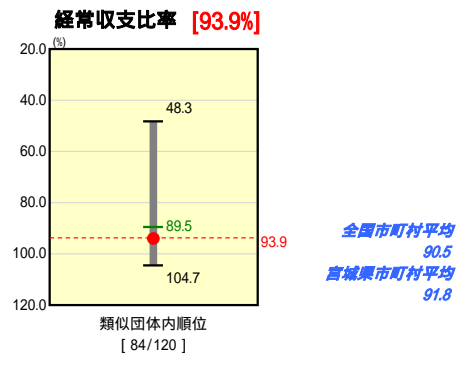
## 宮城県 唐桑町

人口	8,413人(H17.3.31現在)
面積	42.31 km <sup>2</sup>
歳入総額	3,117,393千円
歳出総額	2,989,774千円
実質収支	127,619千円

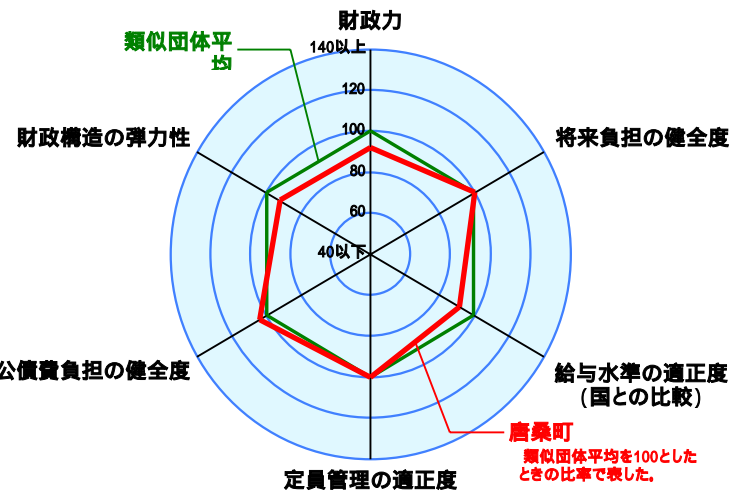
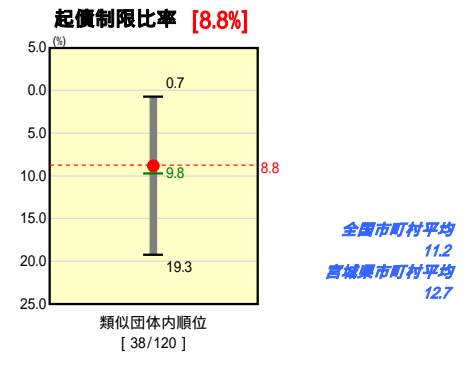
### 財政力



### 財政構造の弾力性



### 公債費負担の健全度



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**財政力指数**  
 基幹産業の水産業が衰退の一途をたどり、人口の激減で全国平均を大幅に上回る高齢化率(17年3月末28.9%)に加え、町内に水産業に代わる産業がないことから財政基盤が弱く、類似団体平均を下回っている。職員の退職者不補充を続け歳出削減を断行している。

**経常収支比率**  
 比率の大きい要因としては、人件費が経常収支比率40.5%で昭和40年代に保育園・幼稚園の行政需用が高まり、そのとき採用した職員が平均年齢53歳と高く人件費を押し上げている。赤字続きの第3セクターの解散や外部委託で経常経費削減を図っている。

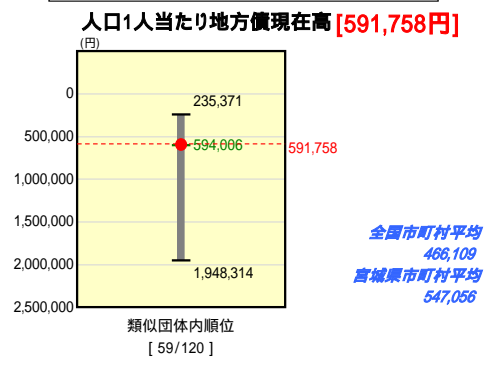
**ラスパイレス指数**  
 年功序列的な給料表となっており、職員の高齢化が著しいため全国市町村平均を上回っている。地域給与との状況をふまえ、4月から新給と制度導入により適正化を図りながら、職員数を削減し少数精鋭で行政展開を図る。

**起債制限比率**  
 過去からの起債抑制や借換等で適正な平準化を目指しており、類似団体平均を下回る結果となっている。今後とも単独事業を抑えて有利な起債の取捨選択に努め水準を下げていく。

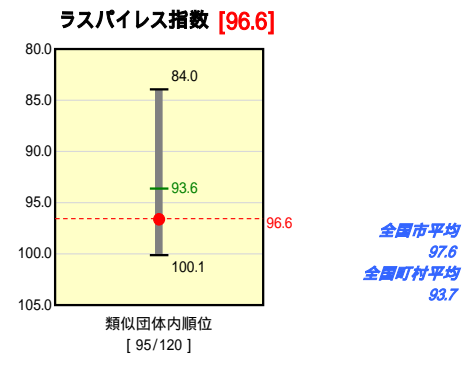
**人口1人あたり地方債残高**  
 国庫補助事業を中心とした港湾の整備、道路網の整備等で全国平均を上まわっているが、類似団体とほぼ同水準であり、今後とも社会資本の整備に向け適正に地方債残高を管理していく。

**人口1,000人あたり職員数**  
 類似団体とほぼ同水準である。その要因としては、極力類似団体に近づけるよう平成7～12年度までの定員管理計画に添い、計画以上の14名(10.6%)削減を果たしたことによる。平成13年度から、引き続き第2次定員管理計画の中で、10年間で27名(21.3%)の削減を計画している。指定管理者による外部委託や不効率部門の統廃合、民間委託、OA化等で目標達成を図る。

### 将来負担の健全度



### 給与水準の適正度(国との比較)



### 定員管理の適正度

